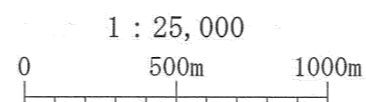
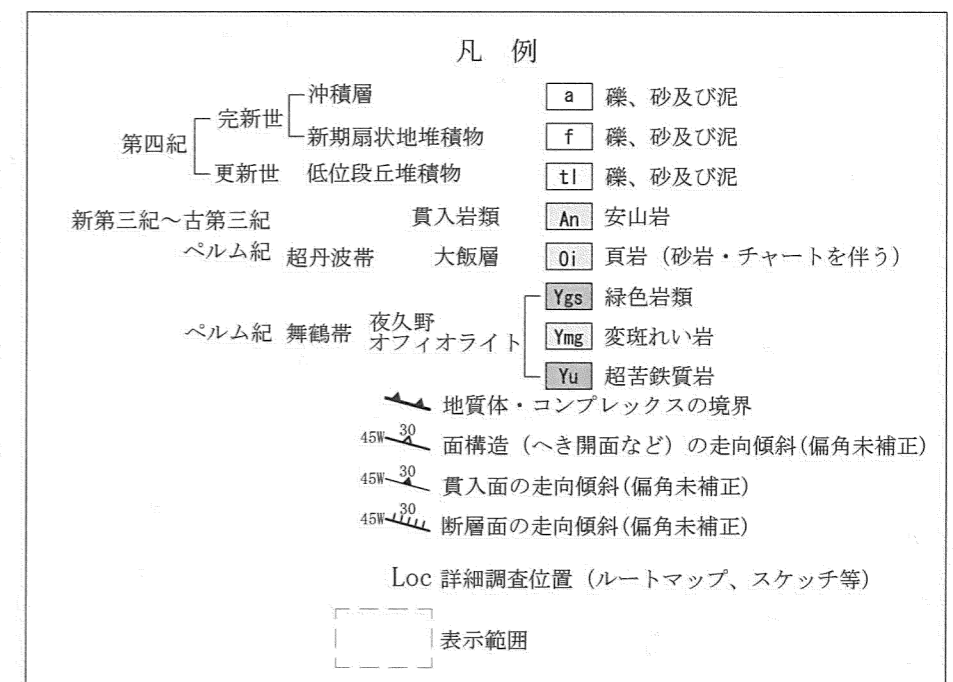
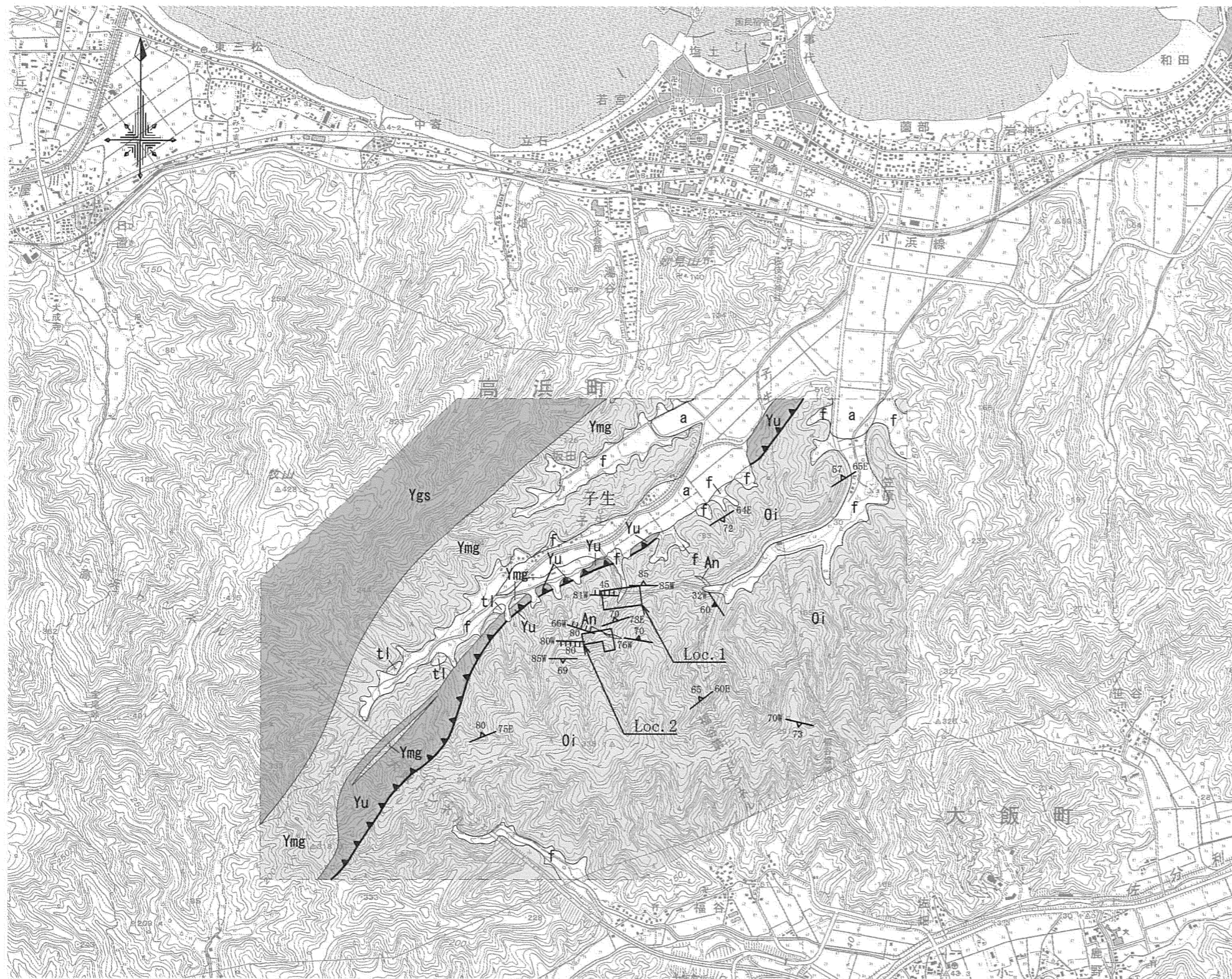


第1.2.3.1.16図 三浜峠リニアメント周辺の地質図

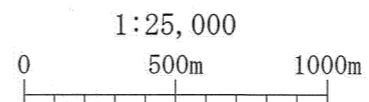
「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平27情複、第259号)」





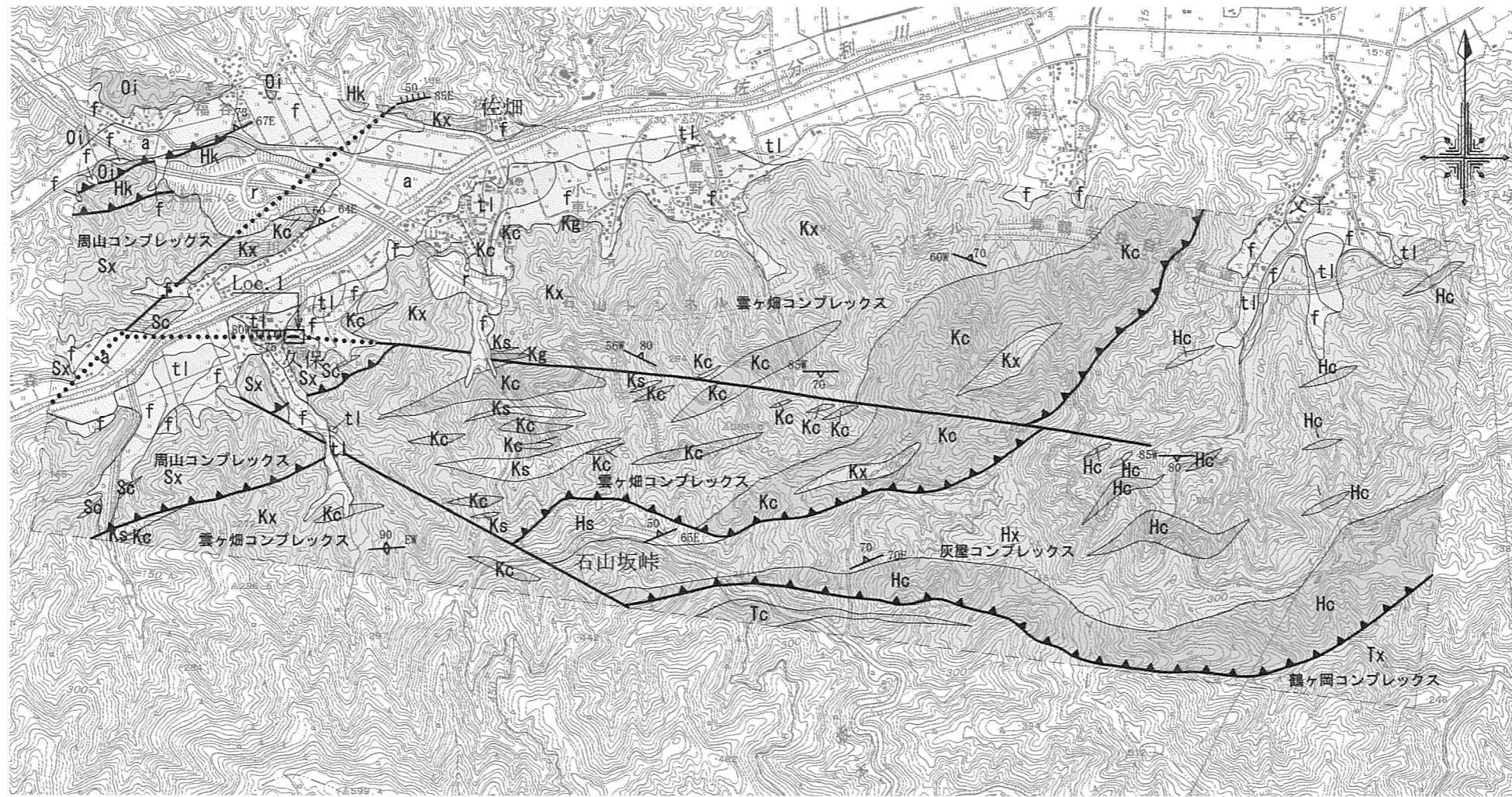


「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。（承認番号 平27情複、第259号）」

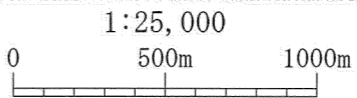


第1.2.3.1.17図 子生リニアメント周辺の地質図





「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。  
(承認番号 平27情複、第259号)」



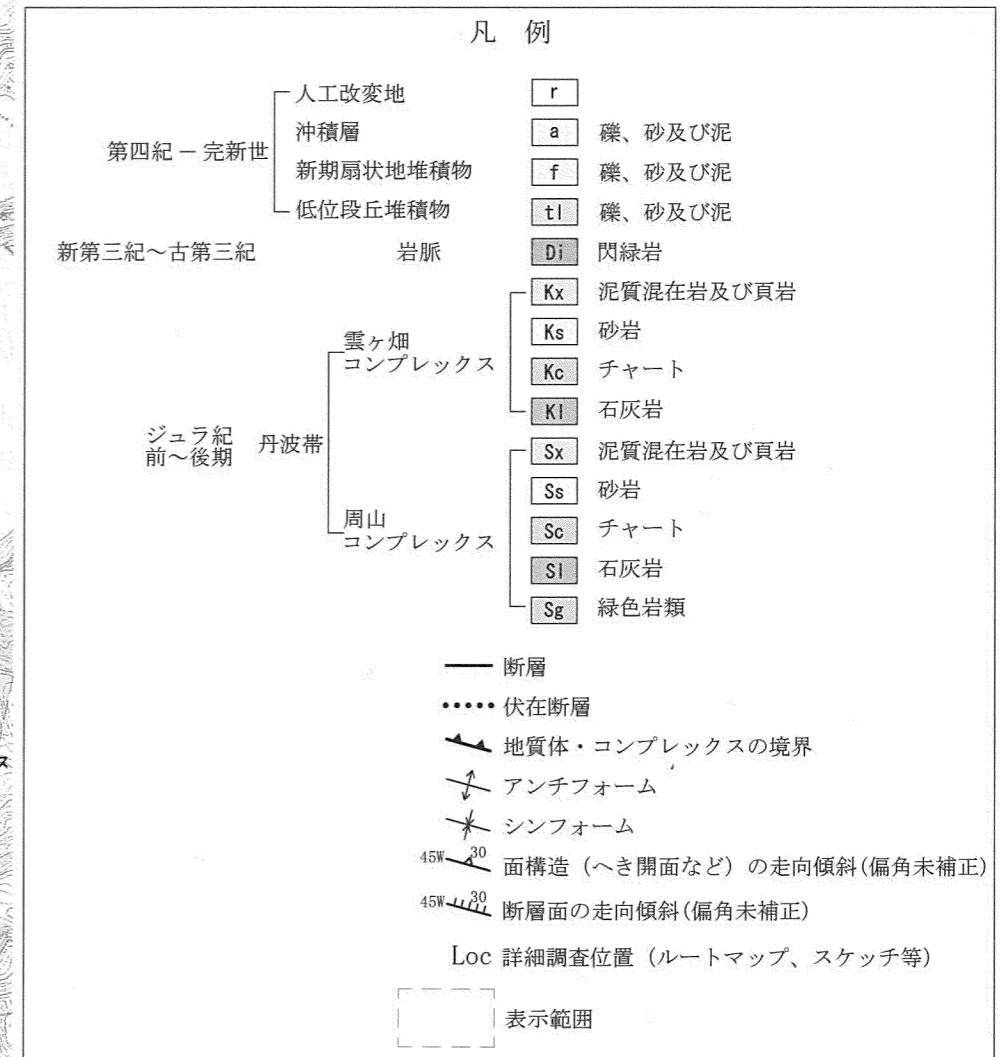
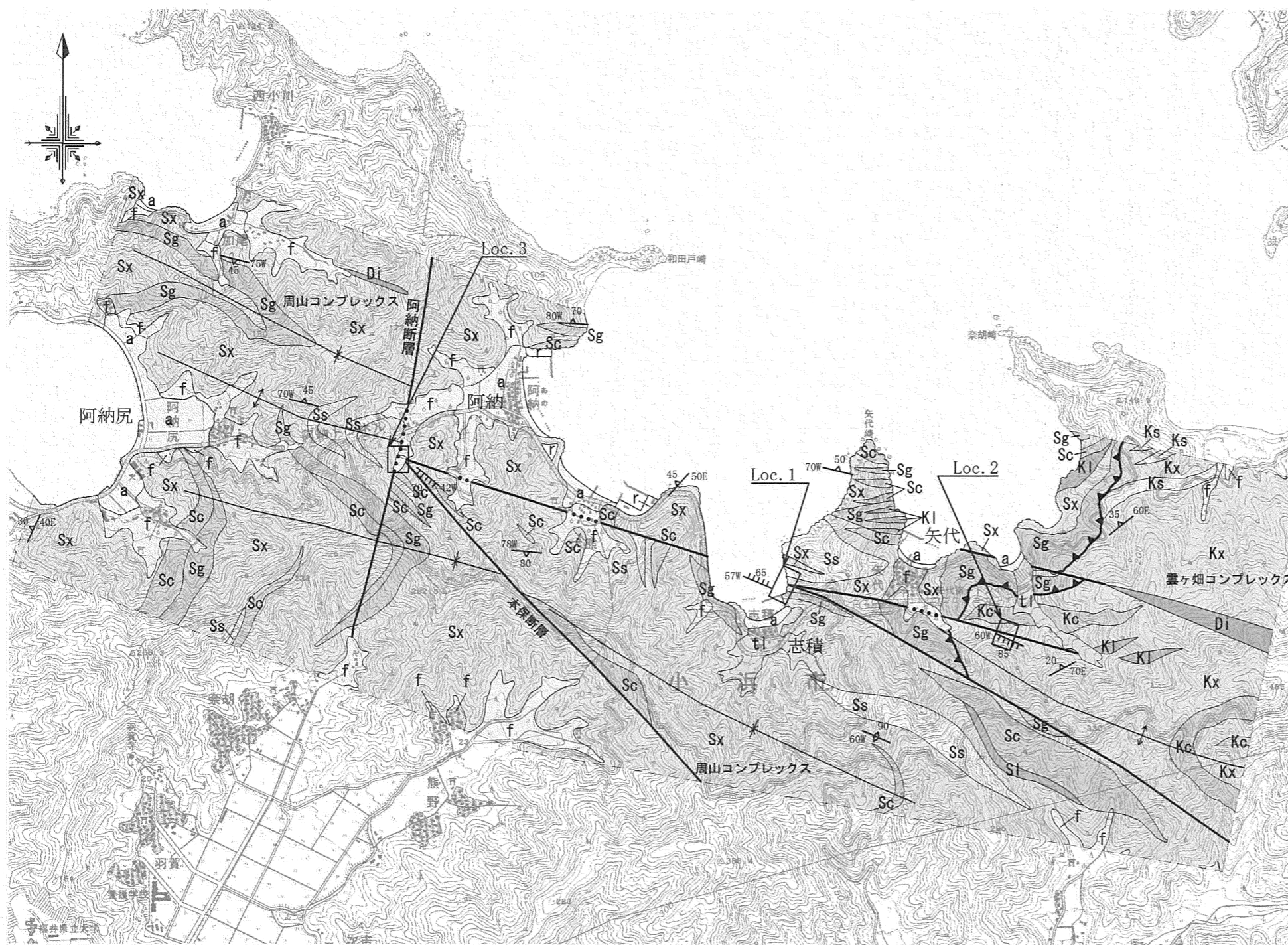
凡 例

—	断層
.....	伏在断層
▲▲▲	地質体・コンプレックスの境界
$\frac{30^\circ}{60}$	面構造（へき開面など）の走向傾斜（偏角未補正）
$\frac{30^\circ}{60}$	断層面の走向傾斜（偏角未補正）
Loc	詳細調査位置（ルートマップ、スケッチ等）
□	表示範囲

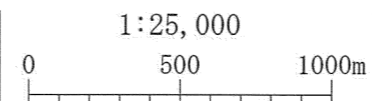
凡 例

第四紀	完新世	人工改変地	r	
		沖積層	a	礫、砂及び泥
		新期扇状地堆積物	f	礫、砂及び泥
		更新世 - 低位段丘堆積物	tl	礫、砂及び泥
ジュラ紀 前～後期	丹波帯	鶴ヶ岡 コンプレックス	Tx	泥質混在岩及び頁岩
			Tc	チャート
		灰屋 コンプレックス	Hx	泥質混在岩及び頁岩
			Hs	砂岩
		Hc	チャート	
		Kx	泥質混在岩及び頁岩	
	雲ヶ畑 コンプレックス	Ks	砂岩	
		Kc	チャート	
		Kg	緑色岩類	
	周山 コンプレックス	Sx	泥質混在岩及び頁岩	
		Sc	チャート	
	ペルム紀 中～後期	超丹波帯	氷上層	Hk
大飯層			Oi	頁岩（砂岩・チャートを伴う）

第1.2.3.1.18図 石山坂峠北リニアメント周辺の地質図

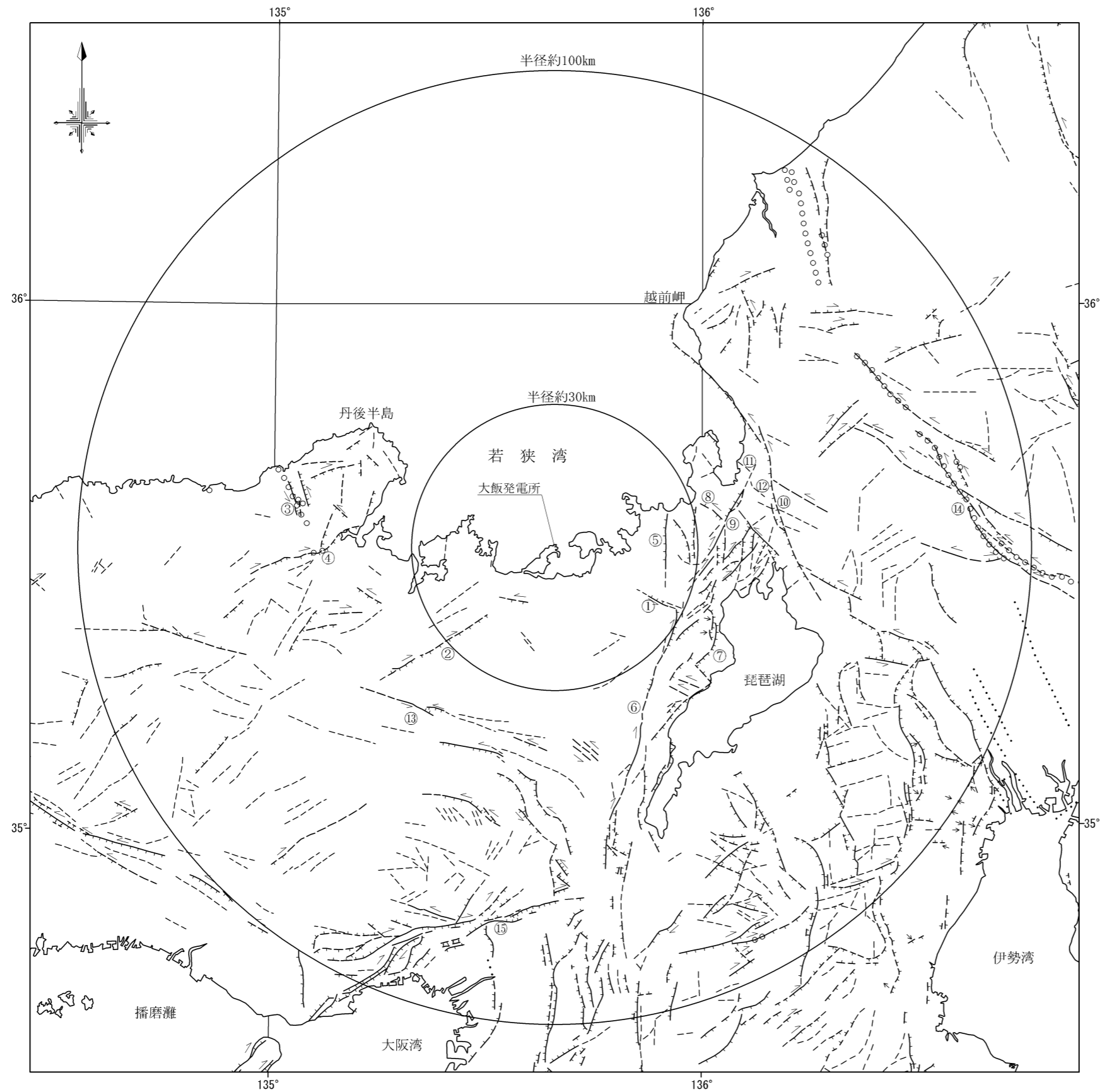


「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平27情複、第259号)」



第1.2.3.1.19図 矢代リニアメント周辺の地質図





凡 例

陸上活断層

- 活断層であることが確実なもの（確実度Ⅰ）
- 活断層であると推定されるもの（確実度Ⅱ）
- 活断層の疑いのあるリニアメント（確実度Ⅲ）

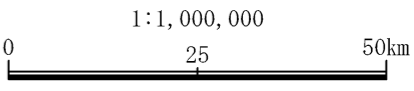
短線は縦ずれの低下側、矢印は横ずれのむきを示す

- 伏在断層
- 地震断層

活傾動

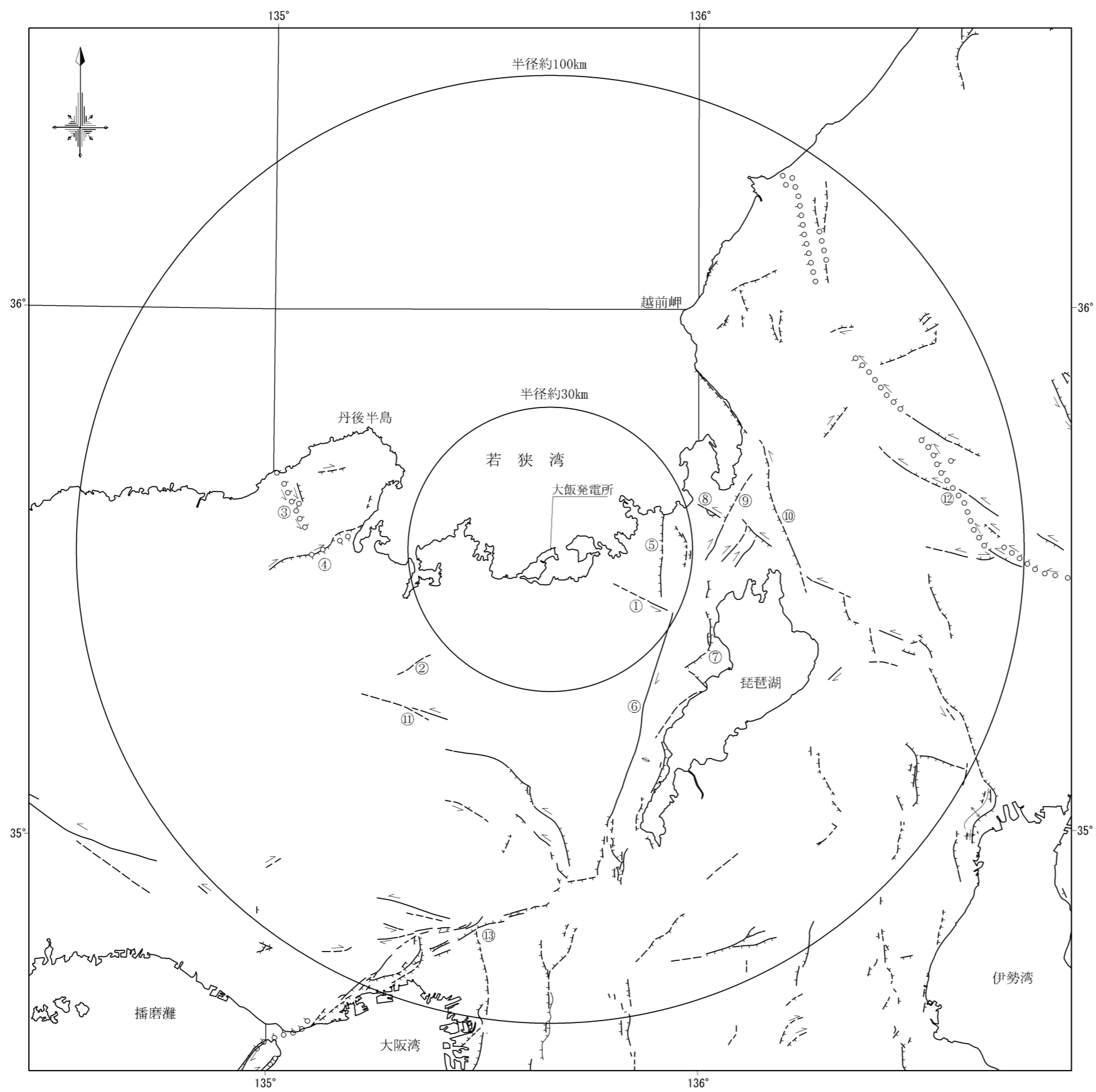
- 地形面の傾き下る方向

①	熊川断層
②	上林川断層
③	郷村断層
④	山田断層
⑤	三方断層
⑥	花折断層
⑦	琵琶湖西岸断層系
⑧	野坂断層
⑨	敦賀断層
⑩	柳ヶ瀬断層
⑪	ウツロギ峠
⑫	池河内断層
⑬	三峠断層
⑭	濃尾地震断層系
⑮	有馬-高槻構造線



第1.2.3.1.20図 敷地周辺陸域の活断層分布図「[新編]日本の活断層」(半径約100km)

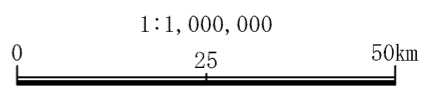




凡 例

○ ○ ○ ○ ○ ○	地震断層
—————	活断層 (主として第四紀後期に活動したもの)
- - - - -	推定活断層 (同上)
○ ○ ○ ○ ○ ○	上記の断層における変位の向き (矢印は走向ずれの方向、ケバは落下側を示す)
↕	第四紀後期層の背斜軸

①	熊川断層
②	上林川断層
③	郷村断層
④	山田断層
⑤	三方断層
⑥	花折断層
⑦	琵琶湖西岸断層系
⑧	野坂断層
⑨	敦賀断層
⑩	柳ヶ瀬断層
⑪	三峠断層
⑫	濃尾地震断層系
⑬	有馬-高槻構造線



※『50万分の1活構造図「岡山」「金沢」「京都(第2版)」』より作成

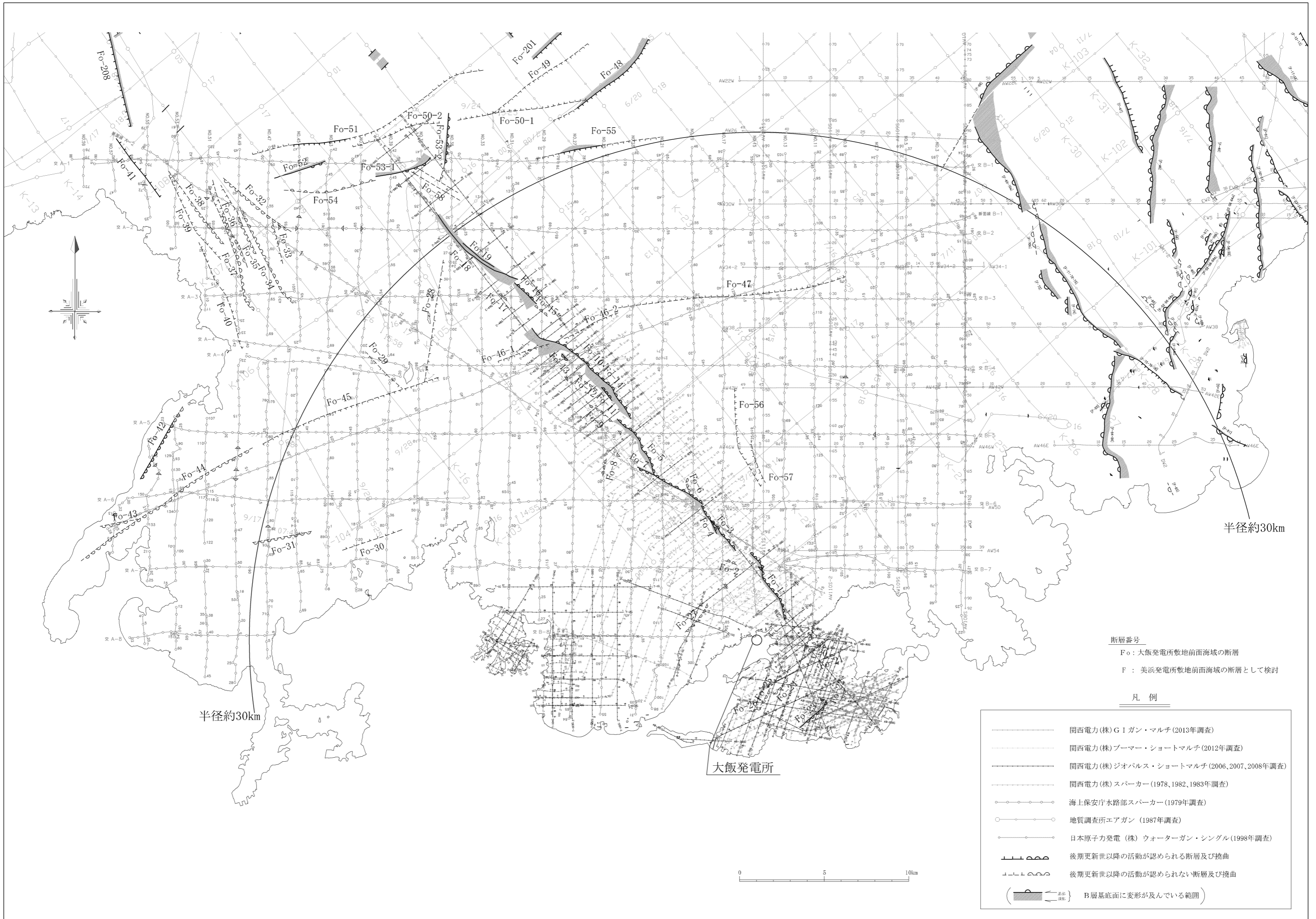
第1.2.3.1.21図 敷地周辺陸域の活断層分布図「活構造図」  
(半径約100km)





第1.2.3.1.22図 敷地前面海域の海底地質図





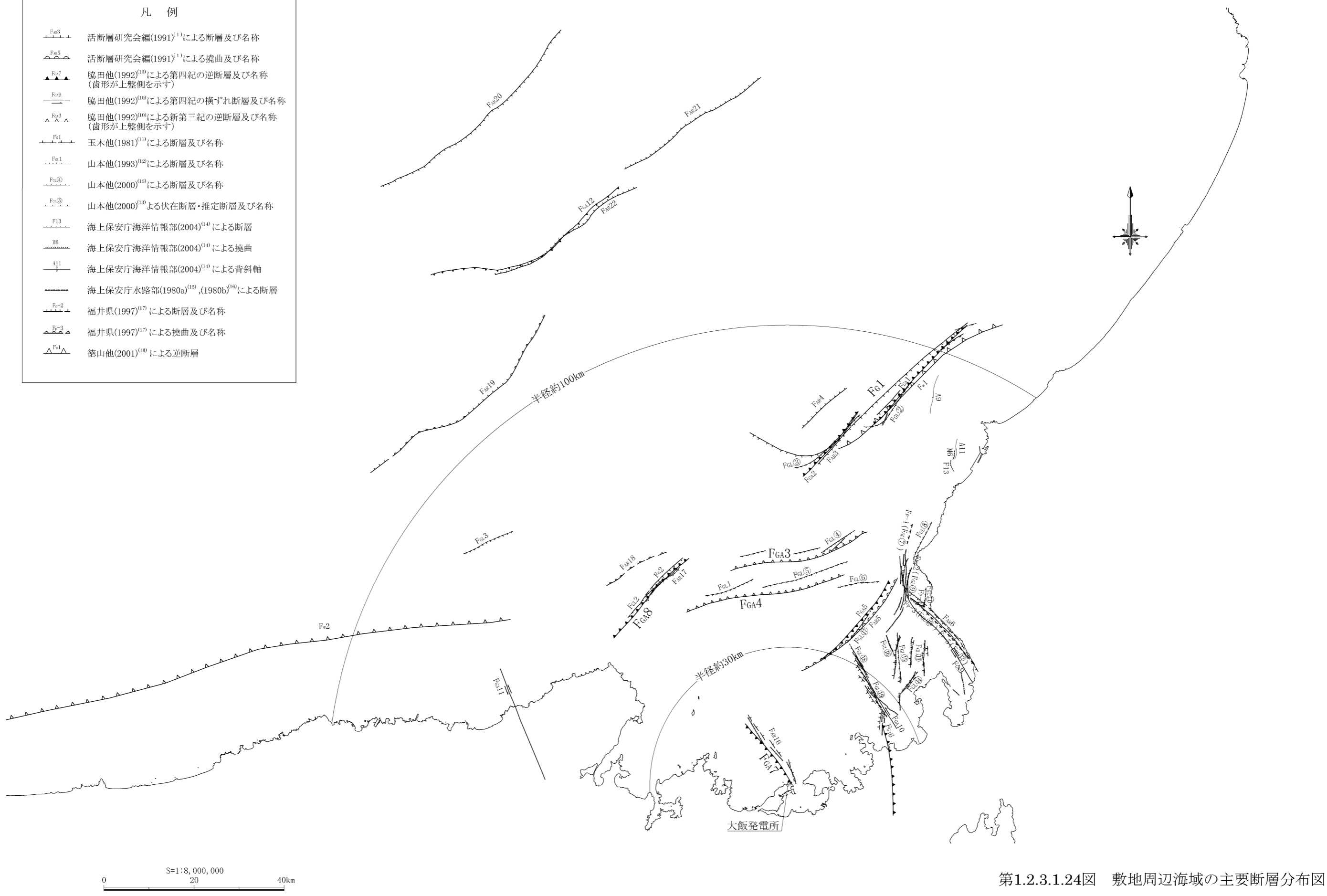
断層番号  
 Fo: 大飯発電所敷地前面海域の断層  
 F: 美浜発電所敷地前面海域の断層として検討

凡 例

- 関西電力(株) G1ガン・マルチ(2013年調査)
- 関西電力(株) プーマー・ショートマルチ(2012年調査)
- 関西電力(株) ジオバルス・ショートマルチ(2006, 2007, 2008年調査)
- 関西電力(株) スパークー(1978, 1982, 1983年調査)
- ○ ○ ○ 海上保安庁水路部スパークー(1979年調査)
- ○ ○ ○ 地質調査所エアガン(1987年調査)
- ○ ○ ○ 日本原子力発電(株) ウォーターガン・シングル(1998年調査)
- 後期更新世以降の活動が認められる断層及び拗曲
- 後期更新世以降の活動が認められない断層及び拗曲
- { } B層基底面に变形が及んでいる範囲

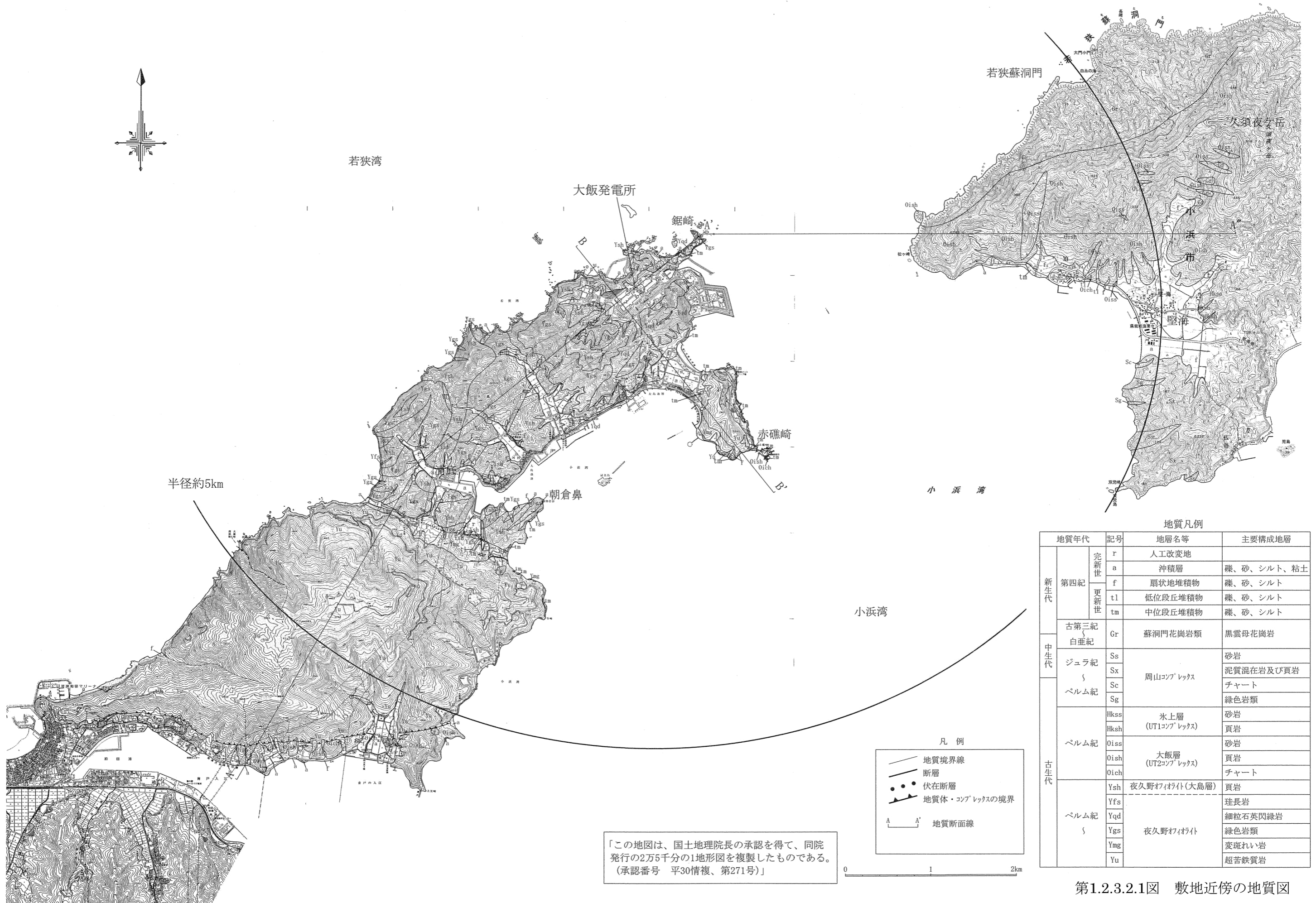
第1.2.3.1.23図 敷地前面海域の断層分布図

凡 例	
	活断層研究会編(1991) <sup>(1)</sup> による断層及び名称
	活断層研究会編(1991) <sup>(1)</sup> による撓曲及び名称
	脇田他(1992) <sup>(10)</sup> による第四紀の逆断層及び名称 (歯形が上盤側を示す)
	脇田他(1992) <sup>(10)</sup> による第四紀の横ずれ断層及び名称
	脇田他(1992) <sup>(10)</sup> による新第三紀の逆断層及び名称 (歯形が上盤側を示す)
	玉木他(1981) <sup>(11)</sup> による断層及び名称
	山本他(1993) <sup>(12)</sup> による断層及び名称
	山本他(2000) <sup>(13)</sup> による断層及び名称
	山本他(2000) <sup>(13)</sup> による伏在断層・推定断層及び名称
	海上保安庁海洋情報部(2004) <sup>(14)</sup> による断層
	海上保安庁海洋情報部(2004) <sup>(14)</sup> による撓曲
	海上保安庁海洋情報部(2004) <sup>(14)</sup> による背斜軸
	海上保安庁水路部(1980a) <sup>(15)</sup> 、(1980b) <sup>(16)</sup> による断層
	福井県(1997) <sup>(17)</sup> による断層及び名称
	福井県(1997) <sup>(17)</sup> による撓曲及び名称
	徳山他(2001) <sup>(18)</sup> による逆断層

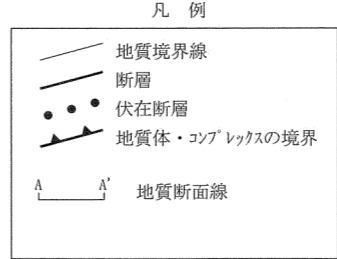


第1.2.3.1.24図 敷地周辺海域の主要断層分布図





「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平30情複、第271号)」



地質年代		記号	地層名等	主要構成地層
新生代	第四紀	r	人工改変地	
		a	沖積層	礫、砂、シルト、粘土
		f	扇状地堆積物	礫、砂、シルト
		更新世	t1	低位段丘堆積物
		tm	中位段丘堆積物	礫、砂、シルト
中生代	古第三紀	Gr	蘇洞門花崗岩類	黒雲母花崗岩
	白亜紀	Ss	周山コンプレックス	砂岩
		Sx		泥質混在岩及び頁岩
	ペルム紀	Sc		チャート
		Sg		緑色岩類
古生代	ペルム紀	Hkss	氷上層	砂岩
		Hksh	(UT1コンプレックス)	頁岩
		Oi	大飯層	砂岩
	Oish	(UT2コンプレックス)		頁岩
		Oich		チャート
ペルム紀	Ysh	夜久野オパール(大島層)	頁岩	
	Yfs	夜久野オパール	珪長岩	
	Yqd		細粒石英閃緑岩	
	Ygs		緑色岩類	
	Ymg		変斑れい岩	
Yu	超苦鉄質岩			

第1.2.3.2.1図 敷地近傍の地質図